

令和4年11月7日

日本学術会議
地球惑星科学委員会 IUGS 分科会
地質年代学小委員会
委員各位

地質年代学小委員会（第25期・第2回）議事要旨

下記の内容で委員会を開催した。委員12名の内、10名の出席により本委員会は成立した。

日時： 令和4年11月7日（月）18:30～19:30
場所： 遠隔会議

出席 奥村，佐野，兵藤，寺田，長谷川，加藤，岩田，星，奥野，田上
欠席 豊田，小宮

議事

1. 小委員会の活動内容の確認（配付資料1）

1-1 今年の連合大会年代セッションの報告

コロナ禍のため、ハイブリッド形式（口頭）および対面・オンライン形式（ポスター）での開催となった連合大会における本委員会主催のセッション（「S-GL23 地球年代学・同位体地球科学」，コンビーナー：田上，佐野）について報告があった。幕張メッセでの対面とZoomでの発表となったが，4件の口頭発表と5件のポスター発表があり，活発な質疑応答があった。また，関連セッションである「S-CG42 Evolution and movement of the crustal surface and application of geo- and thermochronology（地殻表層の変動・発達と地球年代学／熱年代学の応用）」（コンビーナー：長谷部，末岡，Lee Yuan Hsi，田上）と「H-QR05 地球惑星科学へのルミネッセンス・ESR年代測定への応用」（コンビーナー：豊田，田村，下岡）などについての報告もあった。

1-2 来年の連合大会年代セッション提案

来年の連合大会において，本委員会主催のセッションを開催する提案が委員長よりあった。協議の結果，「地球年代学・同位体地球科学」については田上・佐野が引き続きコンビーナーとしてセッション提案することが了承された。また，固体地球科学セクションフォーカスグループ「表層変動熱年代学」等との関連でもセッション提案することが了承された。さらに，星委員から「年代層序単元境界の研究最前線」のセッション提案について説明があり了承された。

1-3 その他

長谷川委員から IUGS-ISC の白亜系小委員会に関連して以下の報告があった。

- ・この1年半の白亜系 GSSP 設定に関する主な動きは以下の通り：
 1. コニアシアン GSSP が 2021 年 5 月承認された。
 2. カンパニアン GSSP が 2022 年 10 月承認された。
- ・ IUGS-ISC の白亜系小委員会の会議開催について：

8月26日の白亜系国際会議で会議を行った。Hauterivian/Barremian 境界の GSSP が近日中に同小委員会で議論されることになるが、その提案書への反映を求めて日本の手取層群の年代層序や化石の分布について長谷川が発表した。また Campanian/Maastrichtian 境界に関してはマーカールの用法が最近の基準に合っていないこと、最近の研究でマーカール化石種の層序分布が提案時と異なっていることが分かってきたことなどが指摘され、この GSSP の扱いをどうするかを議論する WG を立ち上げることを決めた。

2. 議事要旨の委員長一任について

今回の議事要旨の承認について、委員間でメール回覧の後、委員長に一任することとなった。

3. その他

・委員の辞任について

申し出のあった兵藤博信委員の辞任について、佐藤佳子氏（桜の聖母短期大学准教授）を後任とすることとあわせて委員長から提案があり了承された。

配付資料

1：地質年代学小委員会名簿 2022. 11. 7

地質年代学小委員会

委員長 田上高広